

テーマ	子どもの居場所の提供
-----	------------

区市町村	東村山市
児童館名	秋津児童館
活動名	夏まつり
目的	日常活動の場である児童館の事業に参画し、各々の持てる力を発揮することで参加者の自己肯定感を高めると共に、児童館をより身近なものとして感じてもらいひいては利用者の増につなげる。
主な対象	小学生から大学生
活動の経緯 実践内容	<p>〈活動の経緯〉 開館当時から児童館で開催していた「夏まつり」を、今年度は、「みんなで作る・みんなの夏まつり」をテーマに掲げ、事業の見直しを行うこととしました。</p> <p>〈実践内容〉 今年度の夏まつりは、児童館の来館者が自ら企画・運営を行うものとし、活動に係る対象者を「1～5年の小学生」、「6年生以上」「大学生」の3つの年齢層に分け、それぞれの年齢層別にボランティアを募集しました。集まったメンバーには夏まつりの開催内容を決めるところから始め、事前の準備活動と当日の運営を担ってもらいました。</p> <p><u>1 1～5年の小学生のボランティア</u> 「夏まつり準備クラブ」として児童館でボランティアを募集しました。メンバーは固定では無く、準備クラブの開催日当日に集まったメンバーで、夏まつりの企画の一つである「スペースワールド」に使用するグッズ制作を担当しました。夏まつり準備クラブの活動は8月2、8、15、23、28、29、30日の7回でそれぞれ10人程の子供が参加しました。</p> <p><u>2 6年生以上のボランティア</u> 夏まつりを行うに当たって、中心となった学年です。メインとなる「お店屋さん」の内容決めから当日のコーナー運営までを担当しました。放課後児童クラブ（育成室）を卒所した6年生を中心に職員がボランティア募集のチラシを渡し、メンバーを募りました。主力となるメンバーは日頃から児童館を利用している児童でそのメンバーによる声掛けで集まったのは男女合わせて15名です。6月から毎週木曜日に企画会議を行い、お店屋さんで「スライム」「プラバン」「革のキーホルダー」を行うことが決定しました。当日に向け、広報活動、試作、下準備も行いました。</p>

<p>活動の経緯 実践内容</p>	<p><u>3 大学生のボランティア</u></p> <p>育成室でアルバイトをしている学生に集まってもらいました。当日はボランティアとして6年生が担当する「お店屋さん」のサポートや、その他のコーナーを担当して貰いました。普段から、児童館の児童と接触があるので、状況把握が適切で小学生だけでは対応し難い部分も含め、全体を取りまとめてくれました。</p> <p><u>4 保護者</u></p> <p>育成室の保護者にも職員の呼びかけにより、1つのコーナーを担当していただくことができました。</p> <p><u>5 実施結果</u></p> <p>各「お店屋さん」では200人分の材料を用意したにも関わらず予想以上に多くの方が来てくださり、開始後1時間30分程で次々と材料が無くなってしまいました。準備に要した3か月間でメンバー同士の連携が図れ、当日も担当者同士が助け合い手際よくお店を運営することができました。</p> <p>ボランティアとして参加してくれた児童の在籍する小学校に、児童館として関係者に感謝の意を伝えたいと相談した結果、全校朝会の場で感謝状を渡すことができました。</p>
<p>効果や課題</p>	<p>児童館の利用者として来館していた時には、ルールを守れなかったり、職員に対して不躰な態度を示すことがあった6年生のメンバーとは事業を通して、良好なコミュニケーションが取れるようになりました。</p> <p>児童が自ら企画・運営をしたことにより、集客力が大層あがり、多くの方に児童館の活動を知っていただくことが出来たと感じます。</p> <p>1～5年生の担当した「スペースワールド」では保護者に、自分が作った作品を誇らしげに紹介する姿が見られ、関係した児童がそれぞれ達成感を抱いている様子が伺えました。</p> <p>今後、児童館を利用する5年生やその他の利用者に向けて児童館事業（夏まつり等）の事業を担う、という意識づけを行っていきたいと考えます。</p>



児童館のプロフィール

<p>児童館名</p>	<p>秋津児童館</p>
<p>運営主体</p>	<p>公設公営（東村山市）</p>
<p>所在地・電話番号</p>	<p>東村山市秋津町3丁目51番地25 / 042-397-1150</p>
<p>開館日・時間・休館日</p>	<p>（開館日）平日 9：30～17：45 土曜日・春・夏・冬休み 9：00～17：45</p>